



TOP > 観光スポット > 神社・仏閣 > "オイノサマ"と呼ばれ親しまれている「御嶽神社」

シェア

ツイート



"オイノサマ"と呼ばれ親しまれている「御嶽神社」

2021.08.31 UP 西武新宿線沿線西エリア 投稿者：まるっと中野編集部

[観光スポット] [神社・仏閣]



西武新宿線「鷺ノ宮駅」北口から北西方向に住宅街を縫って進んでいくと、小さな無人の社「御嶽神社」があります。

こちらは、中野区の認定観光資源になっています。

認定観光資源の記事はコチラ



「御嶽神社」は、東京都青梅市にある武蔵御嶽神社の分社で、1908年（明治41年）に御嶽講（※）の方々が建立。武蔵御嶽神社に祀られている大日真神が日本狼であることから"オイノサマ"（御犬様）と呼ばれ、地域の方々に親しまれています。

※御嶽神社を信仰する人

武蔵御嶽神社の分社は、近隣の八幡神社や北原神社の中にもあります。



境内にある碑文を見てみると、弘化年間（1845～1848年）に疫病が流行して多くの村人が病死したので、武州御嶽山に登山して平癒を祈ったところ、病気が回復したことなどが書かれています。



毎年4月12日には、武蔵御嶽神社を参拝し御神符を持ち帰り、4月15日の例大祭に集まり、祈願して各戸に配ります。



現在の社は1966年（昭和41年）に建て替えられたもので、これはその記念碑です。



境内には、手水舎があります。



また、すぐ隣には施主に子どもが育たないので建てたといわれる「子育て地蔵」と呼ばれている地蔵尊があります。



さらに、道を隔てて隣には、別の地蔵尊と庚申塔もあります。

